

VOL. 20



小峰城石垣再生への歩み

全体の姿を現した本丸南面の石垣

文化財課（歴史民俗資料館） ☎2310

積み直しが完了した本丸南面の石垣



震災前の石垣と見比べる見学者



本市のシンボル小峰城。東日本大震災で石垣が崩落し、現在、修復作業を進めています。「小峰城石垣再生への歩み」では、修復作業の様子や再生に向けた取り組みをお知らせします。

昨年の1月から開始した本丸南面石垣の修復は、スナップ写真だけを頼りに作業を行ったため困難を極めました。11月に積み直しが完了し、足場も解体され全体の姿を現しました。

12月7日に行った一般公開には、213人の方が訪れ、震災前の姿と積み直しされた石垣の姿を見比べていました。多くの方が南面に存在した「半同心円落し積み」の復元に関心を持っていて、見学者からは、「元の姿に近づいてほしい」という感想が聞かれました。

今後、元通りの姿に戻すため、引き続きほかの崩落した石垣などの修復を行います。なお、春には、清水門から本丸南面石垣を通り、前御門、本丸・三重櫓までを開放する予定です。



歴史と伝統を活かしたまちづくり「れきしら広報白河編」! vol. 4

本庁舎まちづくり推進課 ☎1111 内2747



石垣が見える小峰城道場門遺構



歴史的資源を活かしたまちづくり

市内には、小峰城跡、南湖公園、白河関をはじめとした歴史的・文化的な資源が数多く存在しています。

現在、取り組んでいる歴史と伝統を活かしたまちづくりでは、それら資源の役割を伝え、歴史的風致の維持・向上につなげることを目的に事業を進めています。

今回は、JR白河駅前に位置し、隣接する市立図書館りづらん、白河駅前イベント広場と一体に新たな交流の拠点として整備された、小峰城道場門遺構を紹介します。

道場門遺構は、小峰城跡の本丸から南へ約300m離れた、小峰城の内と外にまたがる場所に位置しています。三の丸から道場小路に通じる門で、その名称は、門跡の西側にかつて時宗の道場（仏道修行の場）である小峰寺が存在していたことに由来しています。

「白河城御櫓絵図」に描かれた道場門の断面図によると、門は平門、屋根は切妻造りで柿葺き、門の規模は高さが7.6m、梁行3m、入り口の高さは3.7m、幅8.3mであったことが分かります。

市街地に残るこの貴重な道場門遺構は、まちなかを訪れる多くの方にその歴史的役割を知ってもらうため、露出した形に整備しています。



連携が進む産業の新たな試み

農産物などを生産する農業と商業や工業などが連携して、6次産業化に取り組むことで、新たな産業振興が期待できます。

今月号では、市内の新たな試みをお知らせします。

本庁舎商工課 ☎1111 内2246

新たな試みによる地域連携

市内の認定農業者たちが中心になって、自らの手で風評を払しょくし、農業の振興を図ることを目的に設立した(株)しらかわ五葉倶楽部（吉田孝二社長）が、舟田地区に加工場併設型植物工場を建設し、12月2日に竣工式が行われました。



LED照明等を使用して、季節や天候の影響を受けずに、ホウレンソウやレタスなどの農作物を屋内で計画的に栽培できる植物工場は、農産物生産の新たな手法として研究が進められていて、市内で3番目の工場になります。

今回建設された工場は、植物工場に加工場を併設していることが特徴で、栽培した野菜に加え、地元の農家が栽培した野菜を加工・製品化して販売する6次産業のモデルとして注目されています。

地域内の資源を活用し産業に結びつけることで、農業・商業・工業のほか、観光・医療・福祉など、今までにない連携が生まれ新たな効果が期待できます。

用語集

農業・商業・工業の連携

農業者や商工業者がお互いの「技術」や「ノウハウ」を持ち寄り、新しい商品やサービスの開発・提供、販路の拡大などに取り組むことです。

6次産業化

農業者（1次産業）がこれまでの原材料供給者としてだけでなく、自ら連携して加工（2次産業）や、流通・販売（3次産業）に取り組むなど、経営の多角化を進めることで、雇用の確保や所得の向上を目指すことです。

※6次産業=1次産業×2次産業×3次産業

産品をブランド化し全国に発信

市内には、多くの優れた農産物があります。それらをさらに磨き上げ、地域の誇れる産品に育てることは、農業だけではなく地域全体の元気にもつながります。

そのため市では、優れた農産物やその加工品を審査し「白河ブランド」として認証しています。

現在、農産物や加工食品など16の産品が認証されていて、今後さらに認証品を増やし、全国にPRしていきます。



▲白河市農産物ブランド認証マーク
愛称：だるりん

白河ブランド憲章

農産物ブランドとして認証する産品は、

- ・安全・安心な食品であること。
- ・おいしい食品であること。
- ・価値ある食品であること。
- ・白河らしい食品であること。